



総務民生常任委員長

西内 陽美

前任期に引き続き、「見て、聴いて、動く」をモットーに、町民の皆様のご意見を議会につなぐ議員であろうと決意を新たにしているところです。

少子高齢化・人口減少の途をたどり町財政も決して樂觀視できるものではありませんが、子どもがのびのび育つ環境、子育ての喜びを実感できるまち、安心して年を重ねられる仕組みづくりなど、譲れないものが多々あります。10年、20年後を見据えた議論を重ね、次世代に誇れるまちを目指すことで私の職責を果たしたいと考えております。

また、常任委員会の改選により、「総務課」「住民課」「保健福祉課」「会計課」を所管する総務民生常任委員長に就任いたしました。各委員が町民の皆様の意見やまちの課題を精査し、活発な協議ができ

る委員会となるよう、その運営に誠心誠意力を尽くす所存です。

町民の皆様のご指導をよろしくお願いいたします。



経済文教常任委員長

安中 経人

初めて議会に籍を置いてから四年、再び経済文教常任委員を務めることになりました。今までの経験を生かし、少しでも良い町づくりを目指し、微力ながら頑張りたいと考えております。皆様のご指導をよろしく願います。

さて、少子高齢化社会は、わが町だけではなく全国的な傾向であり、大きな課題としてのしかかっております。わが町が存続していくために、この共通課題にどのように取り組んでいくか、待ったなしの状況下であります。

まずは、生産産業である農業の位置付けが最も重要です。魅力ある農業として、担い手をどのように育成、定着させるかが重要であると感じております。私は、この成否が商工業にも連動し、働く場の提供や定住人口の維持がなされるものと信じております。そのためには、議会に対する町民の皆さんの協力がぜひ必要です。忌憚のないご意見をよろしく願ひ申し上げ抱負いたします。



新十津川町監査委員

長名 實

このほどの地方統一選挙で新人議員5名が当選しました。3人の女性議員が誕生したことになり、女性の活躍を課題としている安倍政権の考えを先取りした議会構成となりました。議長会長に任せられた私としては、議会でも

女性の声を大いに反映させた研修会、交流事業を推進していきたいと思えます。

さて、今回の地方統一選挙で話題となった一つに投票率の低下があります。選挙そのものの関心が低くなってしまふ、投票所に足を運ぶ人が減少することが続けば、民主主義の仕組みが危うくなってまいります。

本町も投票率が低下しました。行政区によっても投票率の差が見られますが、今後の選挙からは行政区ごとの投票率を公表してはどうかと考えます。競争心をあおめるのではなく、議会制民主主義を堅持する意識の高揚に資することになればとの思いから提案してみました。

本町が直面するさまざまな問題を、町民の皆様とともに考えていきたと思っておりますので、ご指導ご支援をよろしく願ひいたします。



白石 昇議員

故郷の山を見るたびに、ここに生まれてここに住んでよかったと、安らぎを覚えます。そんな花月地区から町議会議員の議席が失われるぎりぎりのところで立直し、皆様のお力により議席を確保することができました。

この町の基幹産業である農業はウルグアイラウンドの痛手を受け、さらに、見えないTPPに脅かされ農業は弱体化を余儀なくされそうです。この町を元気にしていきたい、そんな思いで都市と農村の交流や修学旅行の農業体験などの事業に取り組み、農業と商業、工業が一体化した活力ある町づくりに取り組んでまいります。

新十津川町二百年に向かって失ってはならないもの、形を変えてでも残すべきものをしっかり守るつもりです。子どもの明るい声が聞こえ